

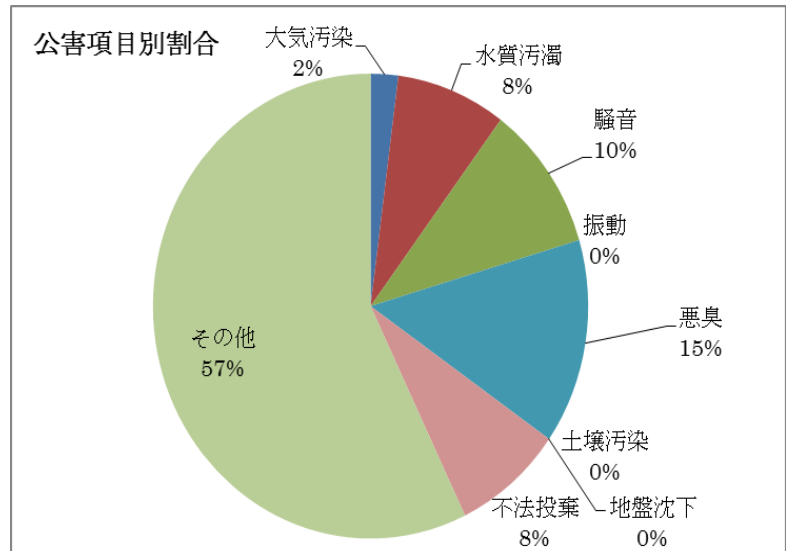
ア7 公害苦情発生状況

平成24年度に受け付けた公害苦情は49件であった。このうち、典型7公害（大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭、土壌汚染、地盤沈下）に係るものが17件、その他のものは32件であり、その内訳は次のとおりであった。

表7-1

区分	公害の種類	件数
典型7公害	大気汚染	1
	水質汚濁	4
	騒音	5
	振動	0
	悪臭	7
	土壌汚染	0
	地盤沈下	0
	小計	17
その他	不法投棄	4
	その他	28
	小計	32
合計		49

図7-1



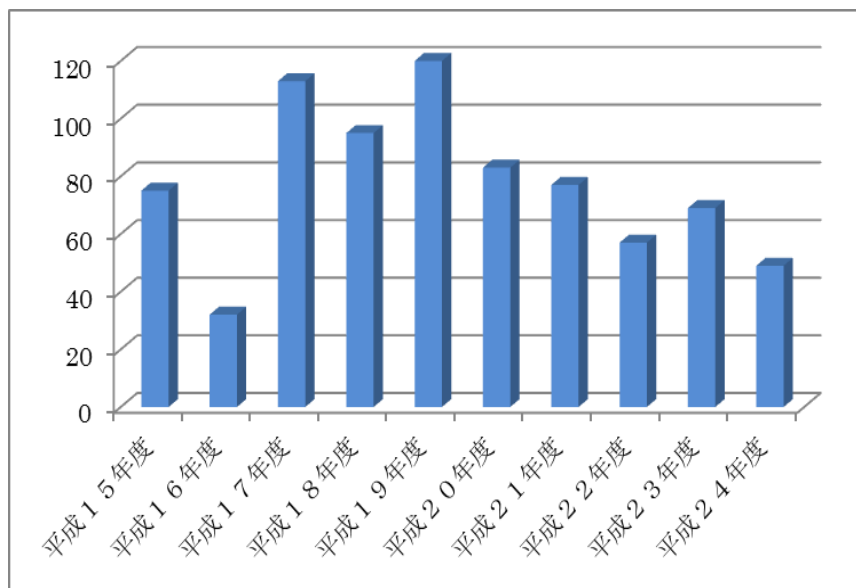
典型7公害のうち、苦情件数が最も多かったのは「悪臭」の7件で、一般家庭によるものが4件、塗装業、堆肥の野積み、食品製造業がそれぞれ1件であった。続いて、「騒音」の5件で、建設業、廃棄物処理業、製造業、運送業等の大型機械や車両の使用が原因のものであった。また、「水質汚染」が4件あり、食品製造業が1件、他3件については、原因の特定できない一過性のものであった。「大気汚染」の1件についてはプラスチック塗装業が原因のものであった。

なお、「振動」「土壌汚染」「地盤沈下」の苦情はなかった。

以上、典型7公害については17件で、その割合は全体の34.6%であり、典型7公害以外の苦情が全体65.4%だった。中でも最も多かったのは、「その他」に関する28件で、割合は57.0%を占め、一般家庭による野焼きや、危険家屋に関するものが多く見られた。

表7-2 年度別苦情件数 図7-2

年 度	件 数
平成15年度	75
平成16年度	32
平成17年度	113
平成18年度	95
平成19年度	120
平成20年度	83
平成21年度	77
平成22年度	57
平成23年度	69
平成24年度	49



過去10年間の年度別苦情件数は、表7-2及び図7-2に示すとおりである。

平成23年度に苦情件数は増加に転じたが、平成24年度は20件の減少となっている。

全体として苦情件数は減少したが、一般家庭による野焼きに関する苦情の割合は依然として高く、市では、市広報紙及びホームページにより、市民への屋外焼却行為の禁止や廃棄物の適正処理について周知徹底に努めてきた。

また、平成24年度は大型機械や大型車両による「騒音」に関する苦情が増加しているため、事業者へ「香取市環境保全条例」に関する届出や防音対策の指導をおこなった。